新設住宅着工数は反動減、延べ宿泊者数、空港旅客数ともに好調

3月の延べ宿泊者数は754,580人（前年同月比＋4.6%）で日本人、外国人ともに3カ月連続で増加した。

4月の熊本空港旅客数は289,617人（同＋10.0%）となった。新規就航や運航再開もあり、特にビジネス需要やインバウンドが増加している国際線が好調である。

4月の新設住宅着工戸数は1,135戸（同▲5.2%）と、前月の駆け込み需要からの反動減となった。

各指数の矢印については
現状の景況感をあらわす。　↗ 上向き　→ 横ばい　↘ 下向き

鉱工業生産指数　↘　2カ月ぶりに前月比低下（3月）

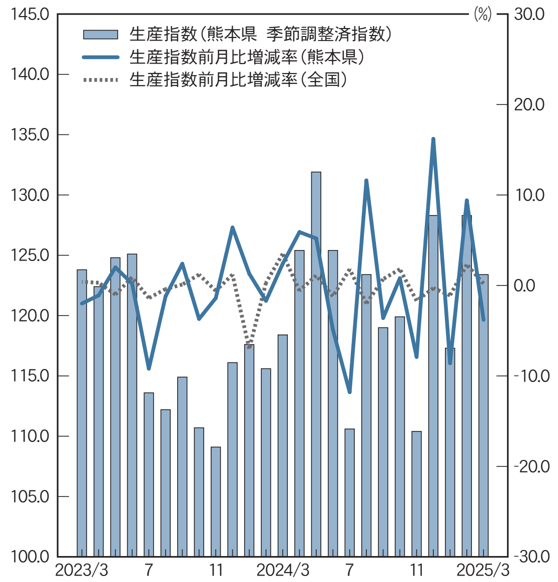
3月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、速報値で前月比▲3.8%の123.4となり、2カ月ぶりに前月比で低下した。

生産指数（季節調整済）を業種別にみると、電気機械工業（前月比▲54.7%）、化学工業（同▲20.6%）、輸送機械工業（同▲13.5%）など10業種が低下した。一方、汎用・生産用機械工業（同＋20.7%）、パルプ・紙・紙加工品工業（同＋20.8%）など7業種が上昇した。

業種別寄与度を見ると、電気機械工業が▲3.21ポイント、化学工業が▲2.09ポイント、輸送機械工業が▲1.22ポイントとなり、全体の生産指数を押し下げた。

なお、電子部品・デバイス工業の分類に含まれる集積回路の生産指数（季節調整済み）は177.7（前月比▲0.8%）となり、小幅に低下した。

鉱工業生産指数前月比　（2020年＝100 季節調整済）



※最新月は速報値
資料：熊本県統計調査課、経済産業省

住宅着工　着工戸数は前年比マイナス（４月）

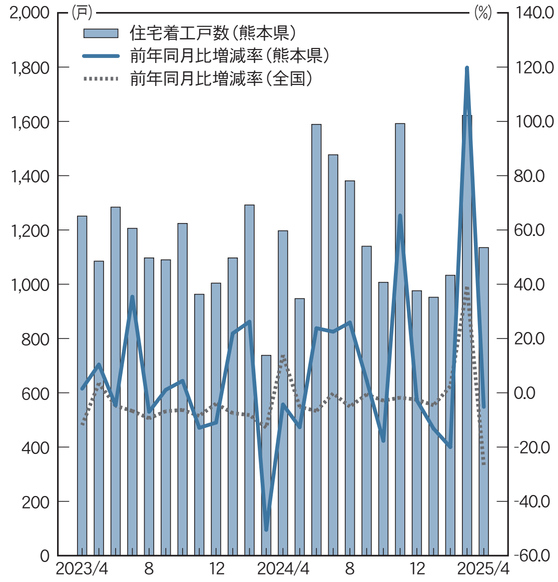
４月の新設住宅着工戸数は、前年同月比▲5.2%の1,135戸とマイナスとなった。

住宅着工戸数は、2025年４月から省エネ基準への適合が義務化される法改正を前に、駆け込み需要により増加した。その影響で、2025年３月の着工戸数は前年同月比で大幅なプラスとなった。2025年４月に着工戸数が減少した背景には、３月の急増に対する反動が一因として挙げられる。

利用関係別にみると、持家が307戸（前年同月比＋18.5%）、貸家は638戸（同▲19.3%）、分譲は188戸（同＋28.8%）となっている。持家や分譲の着工戸数は３カ月連続のプラスとなった。

なお、全国の４月の新設住宅着工戸数は、56,188戸（同▲26.6%）となっており、３カ月ぶりのマイナスとなった。

新設住宅着工戸数前年同月比

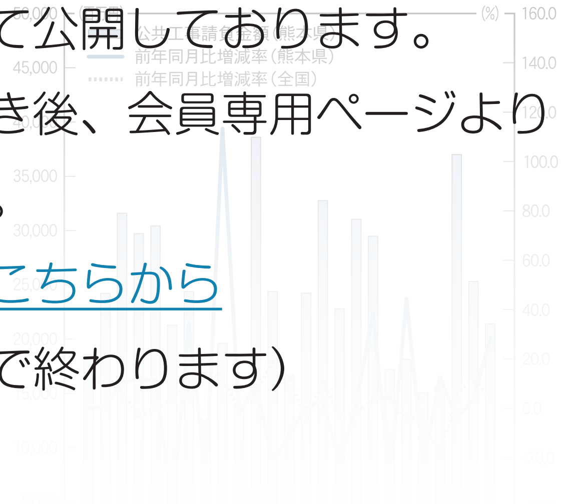


資料：国土交通省

公共工事　請負金額は前年比プラス（５月）

５月の公共工事件数は308件で前年同月比▲10.5%、請負金額は214億05百万円で同＋28.3%と [illegible]

公共工事請負金額前年同月比



以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。

ご入会はこちらから

（入力は数分で終わります）

会員の方はこちらから